

東京工芸大学・風工学共同研究拠点・公開研究会（2014年2月25日）のご案内

## 竜巻による樹木被害および被害発生風速に関する研究集会

### 【主旨】

近年、竜巻の認識件数は増加傾向にある。竜巻強度は、地表面付近の被害状況から定量化されるフジタスケール(Fスケール)で示され、それが個別竜巻の強度や被害の評価あるいは竜巻の発生頻度等に関する統計的評価の基礎になっている。現在、日本の状況に則してFスケールの最適化が進められているところであるが、樹木被害は公園、森林、原野など人工構造物が少ない場所の主要なインジケータであること、国・地域ごとの差異が小さく、汎用のインジケータになり得ることから、樹木に関する評価基準の改善が重要課題となっている。

本研究集会は、竜巻による樹木被害の発生状況や被害発生風速について、現状についての認識を深め、問題点を把握することによって、今後の研究の展開方向を探ることを目的に開催します。ご関心ある方の参加をお願い申し上げます。

開催日時：2014年2月25日（火）13:15～16:10

開催場所：森林総合研究所 セミナールーム（森林環境変動解析実験棟 2F）

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/>

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/facilities/kounai-map.html>

問い合わせ先：東京工芸大学 風工学研究拠点

共同利用・共同研究拠点事務局

046-242-9658

13:15－13:20：趣旨説明 鈴木 寛（森林総合研究所）

13:20－13:50：竜巻の気象学的構造と樹木被害の特徴 佐藤英一（気象研究所）

13:50－14:20：台風や竜巻等による樹木被害やそれによる2次被害事例

松井正宏（東京工芸大学）

14:20－14:50：海岸砂丘地に植栽した広葉樹およびクロマツの引き倒し抵抗特性

野口宏典（森林総合研究所）

休憩 10分

15:00－15:30：樹木の風力係数 吉田昭仁（東京工芸大学）

15:30－16:00：樹木倒壊風速の推定 鈴木 寛（森林総合研究所）

16:00－16:10：まとめ 後藤義明（森林総合研究所）